



Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.37

発行日 2000年 8月 31日
発行者 NICE 沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所市民生活課国際交流室内
☎0559-34-2529

KALAMAZOO-NUMAZU SISTER CITIES 1963 37 YEARS 2000



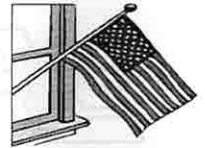
「姉妹都市提携した37年前に記念植樹した楓と石灯籠を囲んで」

アメリカで最初にできたショッピングモールのBurdick Streetも
時代の流れとともに再開発を余儀なくされましたが……

楓の木は工事中も同じ場所で大切に保護され現在に至っています。
石灯籠も元の場所に戻され、両市の友好の深さが感じられます。



Yes, There really is a Kalamazoo!!



7月19日午前11時30分沼津駅北口を専用バスで出発、約25時間後の現地時間19日午後10時半カラマズー市内のEpiscopal教会へ到着すると昨年会った人、3年前に会った人、いつだか思い出せないけど確かに…

今年のカラマズー市への市民訪問団は12名のメンバーで、8泊9日のホームステイをしながらの交流と、その後ボストン・ニューヨークを観光し、14日間のアメリカの旅を終え8月1日午後8時過ぎに無事沼津へ帰ってきました。(12名の市立高校グループと5名の沼津市公式訪問団も途中まで同行)

20日に行なわれた歓迎レセプションは、市民訪問団、公式訪問団、市立高校生のほか日本人留学生なども招待していただき、150名くらいの参加者で盛大に行われました。



ウェスタンミシガン大学で行われたレセプション

席上、池谷助役が沼津を代表して英語でスピーチを行い、また記念品の交換では齋藤衛沼津市長の句集を贈呈し大変好評でした。句集は、元交換教師で現在東京大学大学院に在籍中のイーサン・セーガルさんに英訳していただいたものです。



英語でスピーチをする池谷沼津市助役

カラマズー市では、市役所、バレー美術館、図書館などの公共施設、ウェスタンミシガン大

学(WMU)、公立高校やカラマズー芸術学院などの見学のほか、インディアナ州にあるアウトレットのショッピングセンターへの買物ツアー、隣町にあるビンダー動物園の見学と、盛り沢山の活動を通してアメリカのスケールの大きさ、広さ、日米の文化や生活の違いを体験しました。



市役所前のブロンソンパークでのランチタイム



400エーカーという広大な敷地を年間わずか1ドルで借りて運営しているビンダー動物園

週末は各ホストファミリーと過ごし、ミシガン湖でジェットスキーを楽しんだり、アーミッシュの村を訪ねたり、朝市に出かけたり、結婚式に招待されたり……。

最終日にはアメリカのフラワーアレンジメント、ケーキ作りを見学、ステンシル、クロスステッチなどのクラフトを体験しました。



ポットラックパーティーでの「歓迎のフォークソング」

その後同じ教会でホストファミリーの手作りのお料理と飲み物でポットラックパーティーを

カラマズー市訪問

していただきました。また、今回市民から寄付していただいた七段飾りの雛人形もパーティーに色を添えることができました。



説明書を見ながら雛人形の飾り付け



ゆかた姿の市立高校生と9月から沼津市内で英語を教える交換教師のジェニー

27日朝、来年必ず会いましょう、と再会を約束し、12名の市民訪問団はカラマズー市を後にしボストン・ニューヨークの旅へと出発しました。残り6日間は添乗員のつかない12名だけの旅行で、トラブル・アクシデント続きでしたが、全員がしっかりとまとまり楽しい思い出を作ることができました。



「ホームステイこそ」

市民訪問団団長 澤田 眞養

今年で37年を迎えるカラマズー市との姉妹交流の一端を担うことができたことに感謝と安堵の両方の思いです。7月19日は何と30時間に及び、まさに2日にわたる強行軍でしたが、エピソード教会でホストの家族に迎えられてカラマズー生活が始まり、27日に至る8泊9日の友好交流は、本当に意義深いものでした。

市長を始め、公職の方々、ホール氏他の委員会の多くの皆さんの心をこめた歓迎のプログラ

ム、イベントの数々。われわれにカラマズーの素晴らしさを伝えるには十分なものだったと敬意と感謝の念でいっぱいです。それに、我々個々の団員も、それぞれの持ち味と手法によって、沼津や日本を紹介し、理解を得る努力をしてみました。従って、ホームステイを中心とするこのような型の友好交流、いわば草の根交流こそが、真の国際理解、異文化理解の最善の手法だと確信しています。

「真のアメリカを知りたいければ、中西部へ行け」といわれています。信仰心篤く、よく働き学び、力強く、素朴なアメリカ人。かれらは同時に寛容で優しく明るい人々です。アメリカ人の原像がそこにあるといわれています。我々の姉妹都市カラマズーはそのような「善良なアメリカ人」を感じさせます。このようなカラマズーを姉妹都市に選ばれた先人の賢明さに感謝せざるを得ません。

「家庭は心の中にある」と教えられました。我々は今、新たな家庭、家族をカラマズーに持ったかのような幸せを感じています。

このプログラムが50年、100年と次世代に受け継がれ、小さな草の根交流が日米の平和の礎となることを期待してやみません。

「アメリカの家……」

市民訪問団団員 安田 和子

青々とした緑の木々に囲まれ、一面芝生で覆われた広い庭、グリーンと伸びた2本の大きな木と、時折その枝々の間を動き回るリスたち、木陰にセットされたテーブルと椅子。

家の中へ入れば、清潔で整然とした各部屋、そこかしこに飾られた家族の写真や思い出の品々、色とりどりの小物や植物、そしてそれらを映し出している淡い光のフロアスタンド……。雑誌で見覚えのある、まさに「アメリカの家」の美しさに、思わずため息がでました。

しかし、その美しさは単に環境が、設備が、といったことだけによるのではなく、住み手の努力があるからでは、と思った理由は、よく見ると飾られている一つ一つのものは、決して新しいものではないけれど、十分に手入れをされ、大切にされていることが、一目瞭然だったからです。使いなじんだり、親しんだものだからこ

カラマズー市訪問

そ、生活のなかに溶け込み「住む」ことを楽しく、豊かに、美しくしているのだろうと思いました。

そして、新しい品々や無駄（ゆとり）のないものに囲まれ、一見合理的と思えそうな自分の生活スタイルを振り返ったとき、家全体から醸し出される雰囲気や心地よさに、大きな違いがあることを感じ、「住む」ことの意味を改めて考えさせられました。

限られた書面では書ききれないほど、たくさんの方の貴重な経験をさせていただきました。

愉快的な市民訪問団のメンバーの皆様と出会えたこと、いつも笑い声が絶えず、何百回言っても言い足りないくらい楽しかった思い出を共有できた機会を与えてくださったカラマズー・沼津姉妹都市協会及び関係の皆様、深く感謝いたします。



ミシガン湖畔に建つホール姉妹都市協会会長の Lakeside Cottage

「楽しかったホームステイのワンシーン」

青木 峯子（NICE会員）

私達のホストマザーは、JANという名の58歳の校長先生を退職された方です。2人の娘さんと1人の息子さんに、14歳から2歳までの8人のお孫さんを持ち、アパートで一人暮らしをしています。



JANを囲んで

プールがあるので、水着を持ってくれば泳げますよ、と事前に頂いた手紙に書いてありました。

レストランで食事を済ませ、夜のドライブを終え家に着くと「泡風呂へ行こう」と誘われ支度にとりかかりました。どのように行くのかとJANの様子をうかがっていると、アメリカの中年女性の典型的なタイプの彼女はさっさと水着に着替えています。それぞれにバスタオルを渡され、「レッツ・ゴー」です。「エッ！ このまま？」JANはスタスタと階段を下りて行きます。裸足のまま後に習いました。公道を歩いているのです！タフスプリンクラーが作動したので芝も濡れています。時折、蛍がキラッと光り飛び交います。毎日朝食に出かけるクラブハウスが目的地です。わずか5分の距離ですが、車はライトをつけて私達3人のシルエットを映し出しながら走り去ります。車の中からは私達のことをどのように思っていることでしょうか。恥ずかしさを日本的な笑いでごまかしゲラゲラするしかありません。昼間見た犬のふんが気になります。

男性2人、女性1人の先客がいました。顔見知りらしく、JANは「日本から来た友達の邦子と峯子よ」と言ってるのだろう。私達はやはりジャパニーズスマイルでにこにこ……。ジェット水流で温かく、水着を着ていなければ、まさに日本の露天風呂です。

クローズドタイムに近づき、管理人役のタイの青年がやって来ました。NICEではアセアン青年の受け入れをしているので親しみに似た感情を持ちました。

はるか米国の地において、水着姿のまま、裸足で堂々と公道を歩くとはい……「日本では軽犯罪で捕まるよねえ」などと冗談を言いながら、心地よい夜風に当たりながらアパートへと向かいました。



ホームステイ中に招待された結婚式で

国際理解教育部会

「第1回国際交流サロン」

韓国のクッキングサロン



今年度のクッキングサロンは6月25日(日)第一地区センターにおいて行なわれました。講師にNICE会員でもある櫻井玉順(オクスン)さんをお迎えし、韓国料理に挑戦。メニューは牛カルビ肉の煮込み、オイキムチ、チヂミの3品です。どの料理も特別な食材は必要なく、身近な材料で済みますから、これなら各家庭でも簡単に韓国の味が楽しめます。ところで韓国料理といったら唐辛子。これは日本のものとちょっと違うようで、今回は櫻井さんのお母さんが韓国から送ってくれた本場の唐辛子を用いることにしました。なにせ本場の唐辛子は初めてのこと。その分量に戸惑っている主婦、きゅうりの切り方が独特で、包丁の扱いかたに苦戦しているエプロン姿の男性等見受けられましたが、なかにはベテラン主婦が若手をリードし、てきぱきと調理を進めているグループもあり、和気あいあいとした中おいしそうなおいも漂ってきて、なんとか時間通り3品を完成させました。



さて試食です。韓国料理というとなぜ「辛い」というイメージがありますが、食べてみるとそれほど辛くなく、どれも大好評でした。特にチヂミは、見た目はお好み焼きですが、もちもちとした食感がたまらなく美味で、ビールがほ



しいと思ったのは私だけではなかったようです。「韓国料理は意外と辛くないものが多いんですよ」とは講師の櫻井さんのお話でした。

今回のクッキングサロンを通してお腹も心も満づくになった私は、お隣の国、まだ訪れたことのない韓国が少し近くなった気がしました。

～講師の櫻井さんに伺いました～

◆韓国情報◆

私の出身地テジュンは、ソウルのキンポ空港から直通バスで一時間半くらい南へ走ったところにあります。大都市から少し離れているので静かな町です。内陸にあり海がないので、空気は沼津より乾燥しています。

テジュンから車で20分くらいのところにあるクムサンという場所は、韓国で唯一の朝鮮人参生産地で、そこでは質の良い朝鮮人参をはじめとする漢方薬が都市よりずっと安く手に入ります。

テジュンには温泉やホテルがたくさんあり、温泉では人参風呂、人参サウナ、人参を粉にして使う人参パックも楽しめます。テジュンで普通韓国人が行くサウナではキュウリをすりおろして小麦粉に混ぜたパックが一般的で、サウナ+パックで3,000円くらいです。

テジュンの駅の近くには大きい室内市場があります。市場の中は、屋台が並んでいる通り、食材店が並んでいる通り、衣料品店が並んでいる通りに分かれていて、庶民が集まる場所になっています。屋台の通りでは、チヂミ、冷麺、トックポッキ(餅を炒めて辛く味付けしたもの)を始め、ありとあらゆる庶民の味が楽しめます。何でも安くて500円もあればお腹一杯食べられます。

屋台では紙ナプキンの代わりにトイレットペーパーを使います。上からぶら下がっているペーパーをくるくると巻き取って使うのが屋台の常識です。

食材店や衣料品が並んでいる通りでは、値切ったりしながら店の人と触れ合うのも楽しみの一つです。

ぜひ、遊びに来て下さい。

ふれあい部会

暑く熱く燃えた1日でした!

ふれあい部会では7月29日「燦々ぬまづ踊り」に参加しました。練習日に毎回参加してくれた人や当日にぶっつけ本番で参加してくれた人……日本人28名、外国人30名の総勢58名の参加。
エクアドル・カナダ・ブルガリア・オースト

ラリア・フィリピンなど8カ国の人達と心を通わせた時間でした。そしてその気持ちが伝わった結果「彩り豊かでSHOW」をいただきました。
暑いなか、ご苦労さまでした。
また、来年会いましょう!!



〈外国人参加者からの感想〉

La danza Sun Sun Numazu Odori debe tener un significado especial para los japoneses que viven en Numazu, ya que es una tradición que se lleva a cabo cada año en el festival del mes de julio.

A mí me agrado mucho participar en esta danza porque he tenido la oportunidad de conocer y compartir estos momentos especiales con personas de Japón y de otros países. Fue muy bonito convivir los ensayos como bailar en la calle durante el desfile.

Es muy importante la calidez con que nos dan la bienvenida a los extranjeros que por una u otra razón estamos viviendo aquí en Numazu.

Solo me queda decirles Gracias Amigos. Espero tener la oportunidad de darles la bienvenida a mi país Ecuador.

Jenny

燦々ぬまづ踊りは毎年7月のお祭りに行う伝統行事なので、沼津に住む日本人にとって特別な意味があるものだと思います。

私はこの踊りに参加して日本人の方や他の国々の方とこの特別な時間を経験し共有することができてとても嬉しく思います。一緒に練習したり、(本番で)通りで列になって踊ったりして過ごせたのはとてもすてきな事でした。

様々な理由でここ沼津に住んでいる私たち外国人を歓迎してくれる温かさはとても素晴らしいものだと思います。

皆さんありがとう、と言う以外に言葉が見つかりません。私の故郷・エクアドルで皆さんを歓迎するチャンスがあることを祈っています。

ジェニー

NICE, SORE!

Before I came to Japan, I had witnessed some interesting dancing during the biannual Japanese festivals held at Japantown in my hometown of San Francisco. It had always looked like the participants were having so much fun, wearing yukata and dancing together in the parades.

So, when I came to live and work (and play!) in Numazu, I was looking forward to seeing and, hopefully, participating in “the real thing.” Sadly, my first summer, I arrived in Japan the weekend after the Numazu Summer Festival. My second summer, I didn’t find out about the Bon Odori Dance Parade until the day of the festival. However, as we say in English, “The third time’s the charm.” Thus, this summer, I asked my friend at city hall if there was a group I could join. She gave me the number of the Numazu Association for International Communications and Exchanges (N.I.C.E.), as well as some information about the group and its dance rehearsals. ……途中紙面の都合で省略……

It all came together on the day of the parade. We gathered at a meeting hall in downtown Numazu and got into our costumes. Most of the foreigners opted to wear the traditional red and white happi coat and black short pants; while most of the Japanese had chosen to wear the native costume of other countries which they had visited or which interested them. We were quite a colorful bunch, with clothing not only from Japan, but also from Egypt, China, Thailand, and Singapore, among other countries. The Director himself, as King of the Dancers, covered two countries--both Italy and Papua New Guinea!

Strolling through downtown Numazu in our costumes on the way to the parade venue, we all chatted and laughed. Then came the waiting... and then came the dancing!!! We readied ourselves in formation, and Bang! We were off! Smiling at the parade-goers, smiling (even more!) at the judges, and smiling at one another, we danced along the route. Twenty minutes or so doesn’t sound so long, that is, until you try dancing in tabi-clad feet up and down a paved street on a hot summer afternoon. My dogs were barking!

Back at the meeting hall, the tables were set out, the snacks were laid out, and the drinks were flowing -- all kinds of drinks: Lemonade, orange juice, and, my personal favorite, homemade shiso (perilla leaf) juice; soft drinks and iced tea; and beer... lots and lots of beer! My friend back at home says that beer replaces the electrolytes you lose when you exercise. I’m not really sure if this is true, but it’s certainly a good excuse!

The friendly atmosphere of the practices and the parade turned quite convivial indeed as time passed and everyone relaxed, ate, and drank. As the hour drew to a close, people exchanged numbers and some helped to clean-up while others stood to leave for their evening engagements. This is the true test of a good time had by all -- when the laughter is loud and new friendships are created.

I can’t wait to dance with you all again next year! In the meantime, keep in touch!

Marlene M. Goerl

国際交流フェア

とき 12年11月12日(日)

ところ 学習院遊泳場

お国紹介コーナーに参画してくれる方募集中!!
また、お知り合いの外国の方を紹介してください。

国際交流なんでも情報室

中国文化理解教室

◆中国料理教室◆

〈第1回〉

日時 10月8日(日)
 午前11時から午後3時
場所 第1地区センター
講師 熊谷 虹
料理 くらげの和え物
 鶏肉とナッツの炒め物
 デザート (銀耳・フルーツ・白玉)
持ち物 エプロン・ふきん
参加費 2,000円 (材料費・保険料含む)
申込受付 9月20日(水)から

〈第2回〉

日時 11月19日(日)
 午前11時から午後3時
場所 第1地区センター
講師 井上 華子
料理 炒飯・チンジャオオロス
 冬瓜スープ
持ち物 エプロン・ふきん
参加費 2,000円 (材料費・保険料含む)
申込受付 10月20日(金)から

各回20名になり次第締め切り

◆太極拳教室◆

日時 11月6・13・20日(月)
 午後7時から8時30分まで
場所 香陵武道場 (予定)
講師 桐山洋子 (静岡県中国武術協会)
内容 初歩の太極拳
参加費 会員 500円・非会員 1,000円
申込受付 10月20日(金)から
定員 20名 (定員になり次第締め切り)

お申し込み・お問い合わせ等は
 協会事務局
 (市役所・市民生活課国際交流室内)
 (TEL) 0559-34-2529

「英語&日本語スピーチコンテスト」 出場者募集

日本人は英語で! 外国人は日本語で!
 日ごろ感じていること、考えていることを発表しませんか!?

とき 10月22日(日)午後2時~4時
ところ 市立図書館4F視聴覚ホール
資格 静岡県東部地域在住・在学・在勤で、
 1985年4月1日以前に生まれた人
定員 英語・日本語の部とも各10名 (申し込み先着順)
題目 自由 (但し自作で未発表のもの)
制限時間 5分
申込 所定の申し込み用紙で
締切 10月11日(水)
賞 1~3位までに賞状・トロフィー・副賞、参加者全員に参加賞。

審査員が審査をしている時間には、昨年度姉妹都市カラマズーに留学した平野朋美さんの留学報告も予定しています。
 是非ご来場ください。

事務局に4カ国語(日・英・中・西)の出場者募集チラシを用意してあります。

各部会の運営委員会やイベントなどでも配布いたします。

日本人、外国人を問わず、お友達に宣伝してください。

よろしくお願い致します。

スタッフ 大募集!!

カラマズー部会では、日本語・英語版の沼津のガイドブックの編集を計画しています。英語圏のかたへ、案内する日本人の参考にもなるものと考えています。アイデアやここを訪ねるべきだとか、知恵を貸してください。月2回ぐらいのペースで編集会議をします。